

田口秀子先生から戴いた、砂埃にまみれて真っ白くなった乃木將軍の靴の写真を手にして、考え込んでしまった。長年この靴に関心を持ちながら、いつでも行かれるとたかをくくっていたが、あっという間に20年も経ってしまったということが、ショックでならない。

日本人の平均寿命は、女性87.05歳、男性80.79歳だそうである。(2016年調べ) 私は現在87歳、とうの昔に平均寿命を越え、おまけの人生をいただいているということを、不遜にも忘れていたようである。

私の長女が結婚して高円寺に居り、その娘婿の家が江戸時代から続く旧家で、地元の神社奉賛青年会の会長をしていたので、乃木神社への思いを伝え、協力方をお願いした。なんとその会の世話人が、赤坂の乃木神社のねぎ欄宜、高山陽充さんであったから、幸運な巡り合わせであった。

乃木將軍の靴の清掃奉仕が実現すれば、靴クリームの「コロンプス」さんの協力は欠かせないので、事前に服部達人社長の快諾を得ていた。東京赤坂の乃木神社から、京都桃山の乃木神社に、下記の書面をもって働きかけることにした。

#### 「『乃木將軍の左右同型のブーツ』」

京都桃山の乃木神社に、乃木將軍が愛用された左右同型のブーツを含め、合わせて五足が収蔵されています。(秋田大学名誉教授・田口秀子先生検分)

古くから製靴業界でも、乃木將軍の常在戦場のお立場から発案された、左右同型の靴はよく知られております。

#### 《暗闇でも履ける乃木將軍のブーツ》

「明治後年乃木將軍の靴を、伊東金之助がつくったが、とっさの場合夜中でも履けるよう、左右同型のブーツをつくった。(乃木神社に現存)」(京橋伊東靴店のPR誌『文明開化』より抜粋)

田口秀子先生検分の写真によれば、積年の土埃が付着し、かび黴を呼び込みかねない危険を感じました。皮革は、人間が快適に過ごせる環境であれば、五百年ぐらいは優に保ちます。皮革の表面を清潔にし、少々の保湿クリームを塗布すれば、より一層万全かと思えます。

世界に類を見ない左右同型の靴の保存のためにも、御神体同様の靴の清掃奉仕をいたしたく、発願する次第です。

平成二十七年五月吉日

皮革産業資料館 副館長 稲川 實  
協賛・株式会社コロンプス

代表取締役社長 服部達人 』



乃木將軍肖像(国立国会図書館Webサイトより)